



平成29年11月13日

各位

会社名 木村化工機株式会社
代表者名 代表取締役社長 小林 康眞
(コード番号6378 東証 第1部)
問合せ先 常務取締役管理部門長 福田 正行
(TEL. 06-6488-2501)

子会社2社の吸収合併による特別利益（抱合せ株式消滅差益）の発生、平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年7月28日付「子会社2社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ」を公表しましたとおり、平成29年10月1日をもって当社の完全子会社である三原木村工機株式会社および株式会社サモンド・サービスを吸収合併いたしました。この合併に伴い、当社の個別決算において特別利益を計上することになりました。

また、平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期第2四半期累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）の業績予想値と本日開示の決算値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。あわせて平成30年3月期通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の内容

合併効力発生日（平成29年10月1日）における被合併会社である三原木村工機株式会社および株式会社サモンド・サービスから受け入れた純資産と、当社が保有する同社株式（抱合せ株式）の帳簿価格との差額が発生しましたので「抱合せ株式消滅差益」として特別利益に計上いたします。

- (1) 抱合せ株式消滅差益 : 530 百万円
- (2) 発生日 : 平成29年10月1日

2. 平成30年3月期の業績に与える影響

(1) 連結決算

子会社2社の合併につき、特別利益（抱合せ株式消滅差益）42百万円が計上され、親会社株主に帰属する当期純利益に同額の影響を与えます。

(2) 個別決算

子会社2社の合併につき、特別利益（抱合せ株式消滅差益）530百万円が計上され、当期純利益に同額の影響を与えます。

3. 第2四半期累計期間の業績予想との差異について

平成30年3月期 第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	9,290	440	440	295	14.95
今回発表実績(B)	9,312	720	751	475	24.10
増減額(B-A)	22	280	311	180	
増減率(%)	0.2	63.7	70.7	61.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	7,033	12	18	△5	△0.28

平成30年3月期 第2四半期個別累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	9,000	400	400	270	13.68
今回発表実績(B)	9,077	674	708	448	22.73
増減額(B-A)	77	274	308	178	
増減率(%)	0.9	68.6	77.1	66.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	7,033	△50	△27	△26	△1.32

4. 業績予想の修正について

平成30年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	19,980	870	890	600	30.41
今回修正予想(B)	20,400	1,200	1,230	850	43.01
増減額(B-A)	420	330	340	250	—
増減率(%)	2.1	37.9	38.2	41.7	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	17,331	951	975	631	32.01

平成30年3月期 通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	19,600	800	820	560	28.38
今回修正予想(B)	20,000	1,170	1,200	1,320	66.80
増減額(B-A)	400	370	380	760	—
増減率(%)	2.0	46.3	46.3	135.7	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	17,331	819	865	570	28.92

5. 修正の理由

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は、ほぼ当初の予定通り推移いたしました。利益面ではコスト管理の徹底を行ったことによる経費削減、工程管理の強化による原価率の改善により、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益とも当初予想を上回りました。

なお、平成30年3月期通期の業績予想につきましては、当期中に受注した大型進行基準案件が当期の売上高に寄与すること、子会社2社の吸収合併による特別利益（抱合せ株式消滅差益）の計上、第2四半期累計期間の業績を踏まえ、連結・個別とも当初予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上